



# USER'S MANUAL

USB2.0接続2.5インチポータブルハードディスクケース

## **RX2-25HU**

PLANEX COMMUNICATIONS INC.



# **USER'S MANUAL**

USB2.0接続2.5インチポータブルハードディスクケース

**RX2-25HU**

# 本製品を安全にお使いいただくために

## ⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



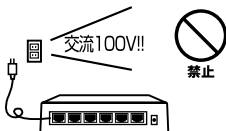
### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



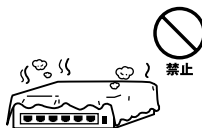
### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



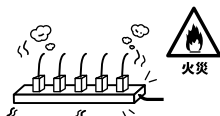
### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



### 電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



## 液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



## 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する  
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



## 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



## ◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

# このマニュアルの構成

---

本マニュアルは以下のような構成になっています。

## 必ずお読みください

---

### 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

## ご使用方法

---

### 第2章 ハードウェアの準備

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

### 第3章～第7章 ドライバインストール

本製品をそれぞれのパソコンで使用するためのドライバインストール手順を説明します。ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。

第3章 :Windows 98/98 Second Edition/Me

第4章 :Windows 2000

第5章 :Windows XP

第6章 :Macintosh(Mac OS 8.6以降)

第7章 :Macintosh(Mac OS 10.0以降)

## 付録

---

### 付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

### 付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

## マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 目次

---

本製品を安全にお使いいただくために	2
<b>第1章 はじめに</b>	
1.USB概要	7
2.製品概要	10
3.特長	10
4.推奨ハードウェアおよびOS	11
5.梱包内容の確認	12
6.各部の名称	13
<b>第2章 ハードウェアの準備</b>	
1.ポータブルハードディスクケースにハードディスクを取り付ける	17
<b>第3章 Windows 98/98 Second Edition/Meへのインストール</b>	
1.ドライバのインストール	19
2.USB1.1/2.0で使用する	23
3.リムーバブルディスクまたは固定ディスクの設定	26
4.USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法	34
5.ドライバの削除方法	35
6.新しいハードディスクを使用する	39
<b>第4章 Windows 2000へのインストール</b>	
1.ドライバのインストール	53
2.USB1.1/2.0で使用する	57
3.インストールの確認	60
4.USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法	67
5.ドライバの削除方法	69
6.新しいハードディスクを使用する	72

---

## 第5章 Windows XPへのインストール

- 1. ドライバのインストール ..... 81
- 2. USB1.1/2.0で使用する ..... 85
- 3. インストールの確認 ..... 96
- 4. USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法 ..... 103
- 5. ドライバの削除方法 ..... 105
- 6. 新しいハードディスクを使用する ..... 108

## 第6章 Macintosh(Mac OS8.6以降)へのインストール

- 1. ドライバのインストール ..... 119
- 2. USB1.1で使用する ..... 122
- 3. インストールの確認 ..... 124
- 4. USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法 ..... 127
- 5. ドライバの削除方法 ..... 128
- 6. 新しいハードディスクを使用する ..... 130

## 第7章 Macintosh(Mac OS10.0以降)へのインストール

- 1. ドライバのインストール ..... 133
- 2. USB1.1で使用する ..... 140
- 3. インストールの確認 ..... 142
- 4. USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法 ..... 147
- 5. 新しいハードディスクを使用する ..... 148

## 付録A トラブルシューティング ..... 153

## 付録B 仕様 ..... 155



# はじめに

## 1 USB概要

USB 2.0は従来のUSB1.1の転送速度に新たに480Mbpsの転送速度を付け加えました。これにより大きな帯域幅が必要な周辺機器(スキャナー、外付けハードディスク、その他)のパフォーマンスにも十分対応可能です。USB規格はマイクロソフト、インテル、コンパック、ヒューレット パッカー、NEC、フィリップス、ルーセント テクノロジーの7社が中心となってサポートしています。

## 「接続に関して」

USBの接続形態は、一台のホストコンピュータを頂点としたツリー状で、USBハブを介して最大127台までの機器を接続できます。一つのUSBバスツリーの中でUSBハブは5段まで接続でき、末端の機器まで含めた階層は最大6階層になります。ホストコンピュータから末端のデバイスまでの最大ケーブル総延長距離は30m、それぞれの機器間（ハブを含む）の距離は最大5mです。

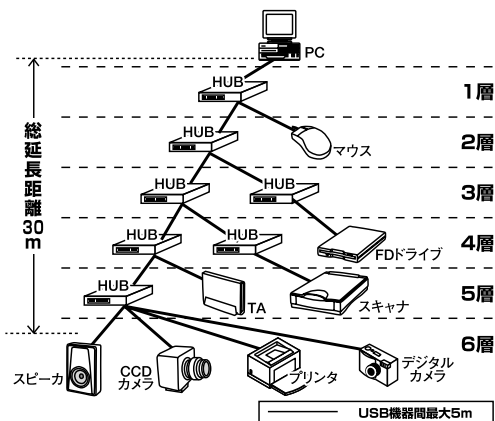


図1-1 USBバスツリー

## 「USBの特長」

USB2.0の転送速度は三種類あります：ロースピード（1.5Mbps）、フルスピード（12Mbps）、ハイスピード（480Mbps）です。周辺機器が使用する転送速度は、それぞれの機器が接続時にホスト側と交渉し、ホスト側はどの機器にどれくらいの間隔でデータの送受信を行うかのスケジュールを決定します。

全てのUSB機器は、以下の機能を備えています。

「ホットスワップ」

コンピュータの動作中にケーブルの抜き差しができます。

「プラグアンドプレイ」

コンピュータを再起動せずに使用する事が可能な機能です。

接続ミスを防止する為にダウンストリームポート(タイプBコネクタ)とアップストリームポート(タイプAコネクタ)と呼ばれる、二種類の形状の異なるコネクタがあります。USB機器を接続する際は、ダウンストリームポートとアップストリームポートを接続します。ポートの形状さえ合えばどのポートにも接続する事が可能ですが一つのバスツリーの中で接続がループしてしまったり、ホストコンピュータ以外に他のコンピュータを接続する事はできません。

USB機器への電源の供給方法には二種類あります。

「セルフ電源方式」

従来の周辺機器のようにACアダプタなどから電源を取り込みます。

「バス電源方式」

必要とする電源をUSBケーブルの電源線から取り込みます。バス電源方式はさらに、100mA以下の低消費電力機器と100~500mAの高消費電力機器に分けられます。

このようにUSBは、従来のさまざまな機器を接続する事ができるだけで無く、コスト、使い易さ、コンピュータのリソースの面からもメリットがある新しいインターフェイスです。

## 2 製品概要

本製品はUSB 2.0( High Speedモード )対応の2.5インチポータブルハードディスクケースです。ノートパソコン用の2.5インチハードディスクドライブを、ノートパソコンやデスクトップパソコンで手軽に共用するための接続キットです。接続が手軽なUSB接続による使用が可能です。別売りのIDE-PCMCIAケーブル( RX-PCM )を使用した場合は、PCカード接続によるノートパソコンでのご利用も可能です。

## 3 特長

USB Rev 1.1/2.0に準拠。

市販の2.5" IDEハードディスクドライブ( 高さ12.7mm以下 )に対応。

最大480MbpsのUSB 2.0( High Speedモード )に対応。

### 1 USB使用時の電源について

本製品をUSB接続で使用する場合は、付属のACアダプタをお使いください。ACアダプタを使用しないで接続しても認識しますが、USBポートではハードディスクを動作させるだけの電源を供給できないため正常に使用することはできません。

## 4 推奨ハードウェアおよびOS

USB 1.1/USB 2.0対応のオンポートUSBコネクタ又は、内蔵USBアダプタを装備したDOS/V機

・Windows 98/98 Second Edition/Me/2000/XP

USBポート 1.1/2.0対応のオンポートUSBコネクタ又は、内蔵USBアダプタを装備したMacintosh

・Mac OS8.6以降/10.1以降

### 注意

現時点(2002年2月現在)でMac OSによるUSB 2.0は対応していないためご使用できるのはUSB 1.1のみとなります。

ノートPCでPCカード接続で使用するためのPCMCIAキットRX-PCM(別売)、USB1.1(1.0) IDE変換ケーブルRX-HUC(別売)、USB1.1/2.0 IDE変換ケーブルRX2-HUC(別売)、IEEE 1394接続で使用するためのIDE IEEE 1394ケーブルRX-HFC(別売)、増設用ポータブルハードディスクケースRX-CAT(別売)、デスクトップ用E-IDEインターフェイスRX-DTF(別売)などもございます。

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

2.5インチポータブルハードディスクケース  
ハードディスク固定用ネジ  
USB2.0 IDE接続ケーブル  
キーボード電源ケーブル(PS/2コネクタを持ったDOS/V機用)  
ACアダプタ  
ドライバCD-ROM  
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

<別売りオプション>

RX-PCM  
ノートPCにPCカードで使用するためのPCMCIAキット  
RX-HFC  
IEEE1394(6ピン)接続で使用するためのIEEE1394ケーブル  
RX-CAT  
増設用ポータブルハードディスクケース  
RX-DTF  
デスクトップ用E-IDEインターフェイス  
RX-HUC  
USB IDE変換ケーブル(USB1.1対応)  
RX2-HUC  
USB2.0 IDE変換ケーブル(USB1.1/2.0対応)

## 6 各部の名称

1

はじめに

### 本体図

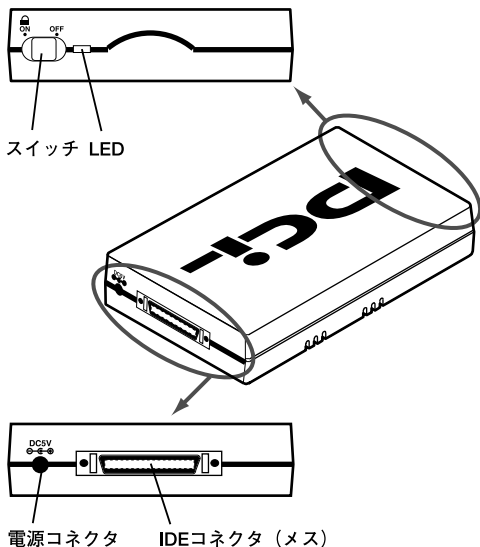


図1-2 ポータブルハードディスクケース

「LED」

通電中は緑色に点灯します。ドライブへアクセス中はアクセスにあわせてオレンジ色に点滅します。

「スイッチ」

電源スイッチです。使用時は「ON」にします。

### ▲ 注意

LEDはアクセスに合わせて点灯・点滅を行います。アクセス状況によって変わりますので、点灯もしくは点滅していてもエラー等が出ていなければ異常ではありません。

「IDEコネクタ(メス)」

本製品の付属のUSB2.0 IDE変換ケーブルを接続するためのコネクタです。オプションのRX-PCM、RX-HUC、RX-HFC、RX2-HUC等での接続でも使用します。

「電源コネクタ」

本製品付属のACアダプタもしくはキーボード電源ケーブル(PS/2コネクタを持ったDOS/V機用)を接続します。

## 背面ステッカー

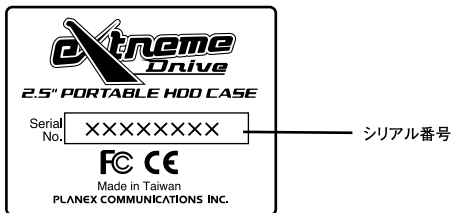


図1-3 裏面ステッカー

「シリアル番号」

本製品のシリアル番号です。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。



## USB2.0 IDE接続ケーブル

1

はじめに

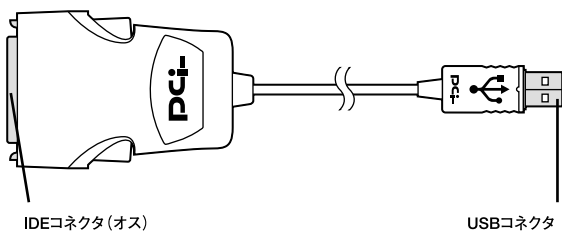


図1-4 ケーブル図

「IDEコネクタ (オス)」

ポータブルハードディスクケースのIDEコネクタと接続します。

「USBコネクタ」

コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートに接続します。



# ハードウェアの準備

## 2

## ハードウェアの準備

**本**章ではポータブルハードディスクケースに2.5"ハードディスクを取り付ける方法を説明します。本製品で使用できるハードディスクは、2.5インチのIDEタイプのハードディスクドライブ（以下2.5" HDD）になります。2.5" HDDはノート用の内蔵ハードディスクとして使用されており、パソコン部品を扱っている販売店でご購入いただけます。詳しくは販売店様にお問い合わせください。

## 1

## ポータブルハードディスクケースにハードディスクを取り付ける

1. ポータブルハードディスクケースを開けます。ケースの上下を両手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で押し込むとケースが開けます。

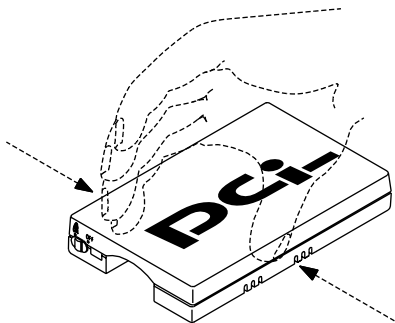


図2-1 ケースを開ける

- 2.** ケースから基板を外して、図のようにコネクタがついているケースの上に2.5”HDDを乗せて、コネクタの奥まで2.5”HDDを押し込み裏面よりネジで固定します。

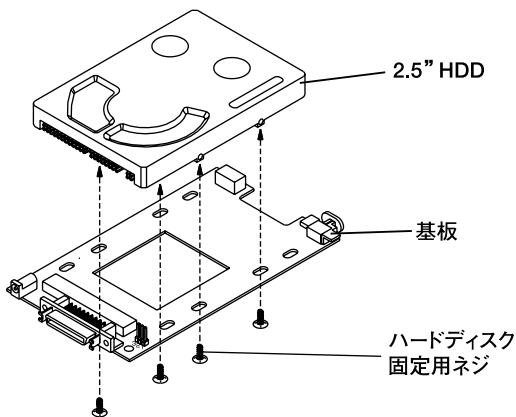


図2-2 基板にHDDを取りつける

- 3.** 基板をポータブルハードディスクケースに取りつけてポータブルハードディスクケースの蓋を閉じます。これでハードディスクの準備は完了です。

# Windows 98/98 Second Edition/Meへのインストール

**本**章では本製品をWindows 98/98 Second Edition/Meで使用する場合のドライバのインストールおよびインストールレーション方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

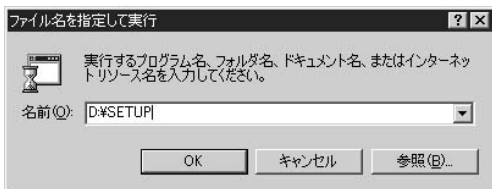
### 注意

本製品を接続する前にドライバのインストールを行ってください。

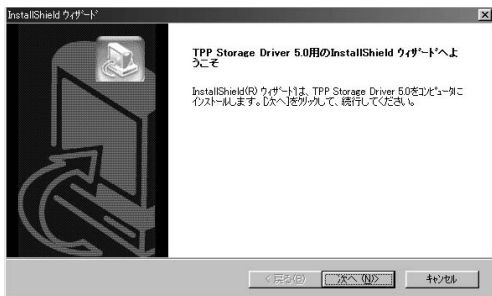
ここではWindows Meを例としています。

1. コンピュータの電源を入れ、OSを起動してください。
2. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

3. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。

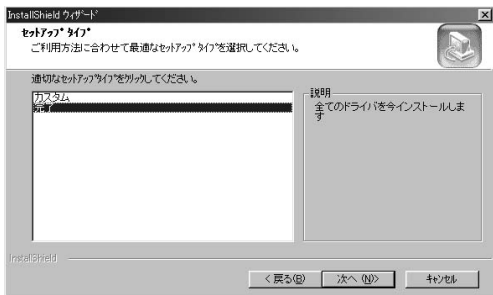


4. インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」が表示されます。

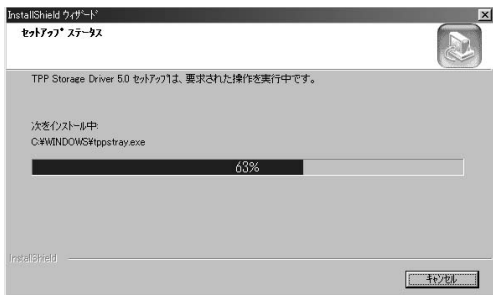


5. 「TPP Storage Driver 5.0用のInstallShieldウィザードへようこそ」と表示されているのを確認し「次へ(N)>」をクリックしてください。

6. 「セットアップタイプ」が表示されますので、「完了」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



7. インストールが開始されます。終了するとデスクトップの画面に戻りますのでCD-ROMドライブよりCD-ROMを抜いてください。



8. インストールが終了し「InstallShieldウィザードの完了」が表示された場合は、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックしてください。





## 2 USB 1.1/2.0で使用する

本製品を、USB 1.1対応のUSBポートもしくはUSB 2.0対応のUSBポートに本製品付属のUSB2.0 IDE接続ケーブルを使って接続する方法について説明します。

ここではWindows Meを例としています。

1. USB2.0 IDE接続ケーブルのIDEコネクタ(オス)をポータブルハードディスクケースのIDEコネクタ(メス)に「カチッ」と音がするようにしっかりと取りつけます。

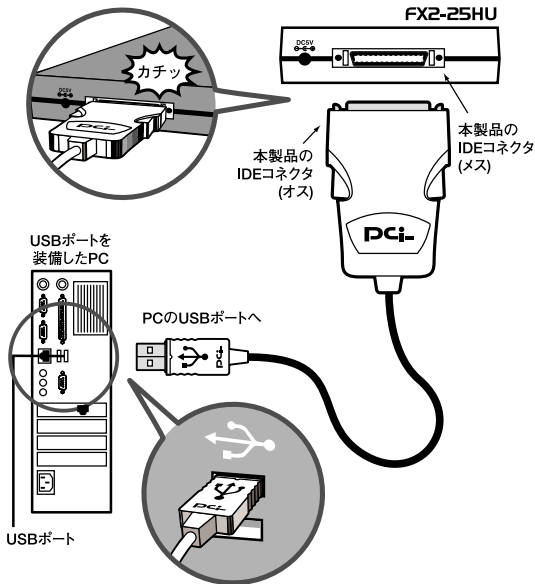
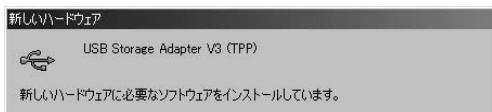


図3-1 IDEコネクタ接続図

3. ケース前面にあるスイッチを「ON」にしてください。
4. コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込みます。
5. ドライバインストール後、初めて接続した場合は「新しいハードウェア」が起動し「USB Storage Adapter V3( TPP)」と「Storage Adapter Bridge Module( TPP)」が検出され必要なソフトウェアが自動的にインストールされます



### ▲ 注意

「新しいハードウェア」で「USB大容量記憶装置デバイス」と「USBディスク」が検出された場合は、「デバイスマネージャ」「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」内の「USB大容量記憶装置デバイス」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックして削除を行った後、「第3章 5. ドライバの削除方法」を行い、再度「第3章 1. ドライバのインストール」を行ってください。

一度ドライバがインストールされておりハードディスクのフォーマット等も終了している場合は、以降はUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを接続するだけで「マイコンピュータ」を開くと「リムーバブルディスク」又は「ローカルディスク(固定ディスク)」と認識されて使用できるようになります。

USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

## 注意

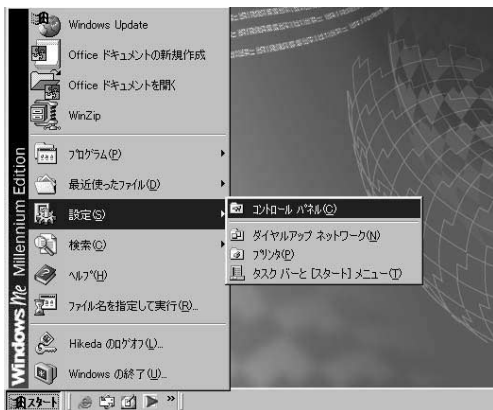
ポータブルハードディスクケース前面のLEDがオレンジ色に点灯（点滅）している時はハードディスクへアクセス中ですので、USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルを抜いたり前面のスイッチをOFFにしないようご注意ください。最悪の場合ハードディスクが壊れることがあります。

新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第3章 5. 新しいハードディスクを使用する場合」をご覧ください。

### 3 リムーバブルディスクまたは固定ディスクの設定

ここではWindows Meを例としています。

1. 「スタート」「設定」「コントロール パネル」の順で選択してください。

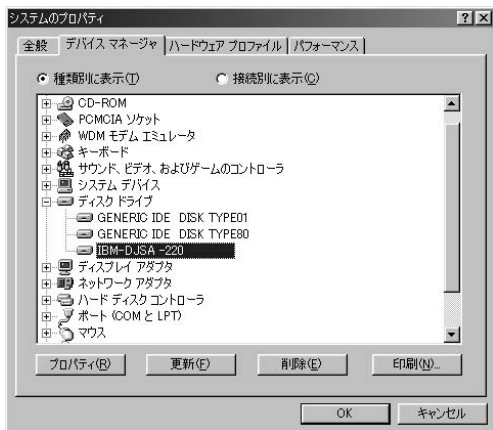


2. 「コントロール パネル」ウインドウで「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

Windows Meの場合は「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「システム」アイコンが表示されます。



3. 「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。「デバイス マネージャ」タブを選択して、「ディスク ドライブ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。ディスクドライブの一覧が表示されます。



4. 本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されます。ハードディスクの名前を選択して「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



5. 「\*\*\*\*\*のプロパティ」ウインドウが表示されます。「設定」タブを選択してください。「設定」メニューの「オプション」に「リムーバブル(R)」の項目があります。





6. 「リムーバブル」の項目にチェックしますと本製品に取り付けられているハードディスクは「リムーバブル ディスク」(MOドライブ)として扱われます。



7. 「リムーバブル」の項目にチェックを外しますと本製品に取り付けられているハードディスクは「ローカルディスク(固定ディスク)」「(内蔵型ハードディスク)」として扱われます。

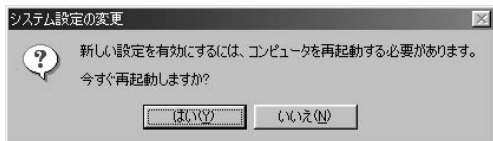


設定が終わりましたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

8. システムのプロパティに戻りますので「閉じる」ボタンをクリックしてください。



9. 設定の変更を行った場合「システム設定の変更」ウインドウが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

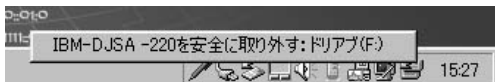


## 4 USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法

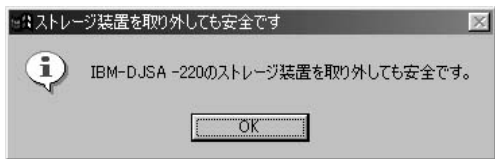
1. デスクトップ上のタスクバーの右下に「ストレージ装置を安全に取り外す：ドライブ( \* : )」のアイコンがあります。アイコンをクリックしてください。  
( \* : )はドライブ番号を表します。



2. アイコンをクリックしますと本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されます。ハードディスクの名前を選択してクリックしてください。コンピュータがハードディスクの取り外しの準備をします。



3. コンピュータがハードディスクの取外しの準備を終了したあとは、「ストレージ装置を取り外しても安全です」ウインドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



本製品をコンピュータから取り外してください。

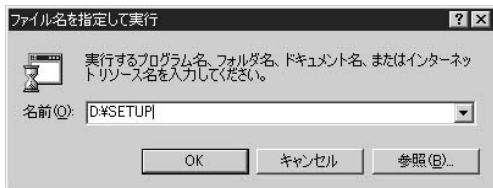
### ▲ 注意

USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

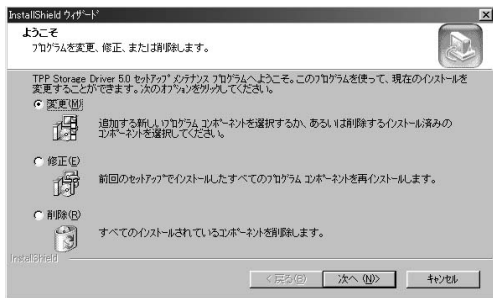
## 5 ドライバの削除方法

ここではWindows Meを例としています。

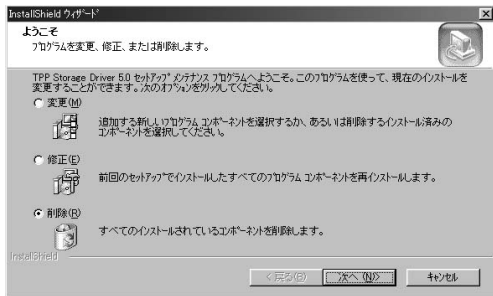
1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
2. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。



3. インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」の「プログラムを変更、修正、また削除します。」が表示されます。



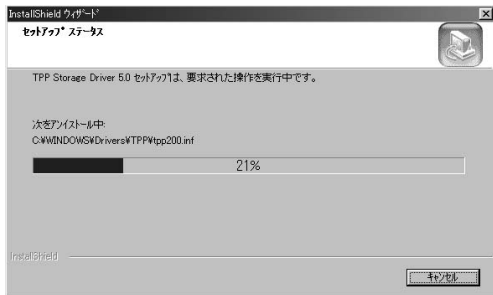
#### 4. 「削除」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



#### 5. 「ファイル削除の確認」が表示されますので「OK」をクリックしてください。

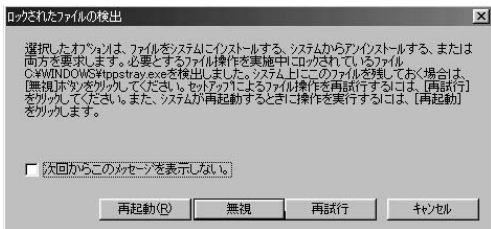


## 6. 「セットアップステータス」が表示されます。



## 7. 「ロックされたファイルの検出」が表示された場合は「再起動(R)」をクリックしてください。

再起動後、再度「第3章 5. ドライバの削除方法」の操作を行ってください。



8. 「InstallShieldウィザードの完了」が表示されますので「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックし再起動をしてください。





## 6 新しいハードディスクを使用する

新しく買ってきたハードディスクをUSB接続で使用する手順を説明します。

ここではWindows Meを例としています。

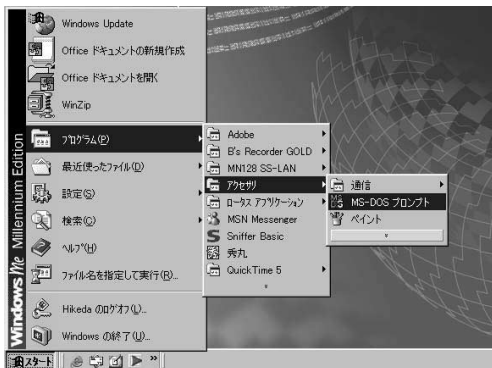
### ローカルディスク(固定ディスク)として使用する 場合

#### ⚠ 注意

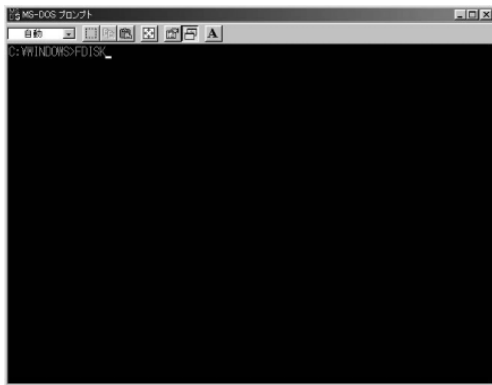
FDISKで操作を誤ると現行使用中のハードディスクの内容を全て失うこととなりますので、FDISKの操作には十分ご注意ください。FDISK実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

ローカルディスク(固定ディスク)として使用される場合にコンピュータが起動している最中に本製品の電源を切ったりUSB2.0 IDE接続ケーブルを抜いたりしないでください。

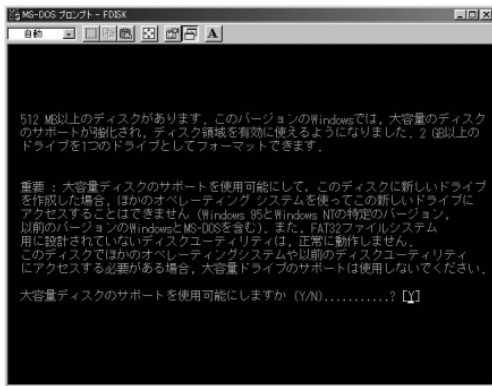
### 1. Windowsを起動したら「スタート」「プログラム」「MS-DOSプロンプト」を起動してください。



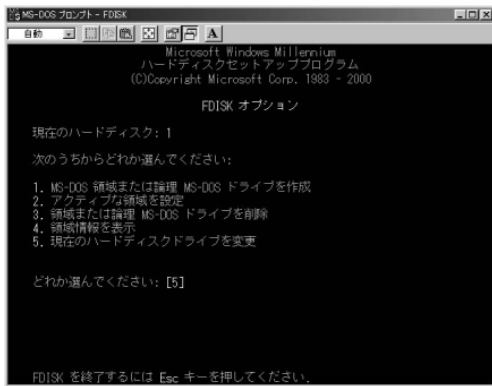
2. コマンド入力待ちになりましたら「FDISK」と入力して「Enter」キーを押してください。



3. 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されますので、2GB以上の容量のハードディスクを使用する場合は「Y」を選択して「Enter」キーを押してください。



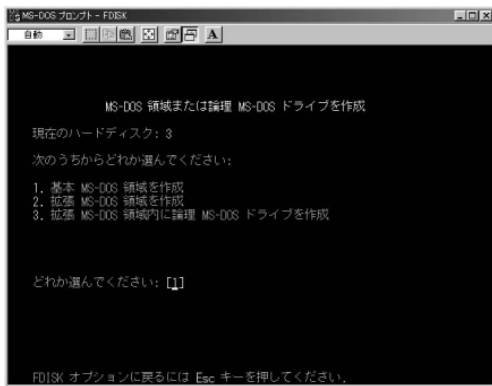
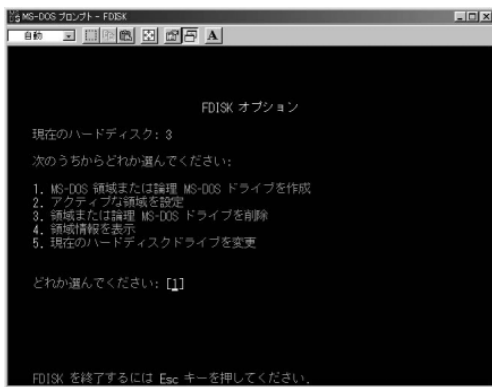
4. 「現在のハードディスクドライブを変更」を選択して「Enter」キーを押してください。



5. 接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されますので、「使用」が「%」になっているドライブを選択して「Enter」キーを押してください。



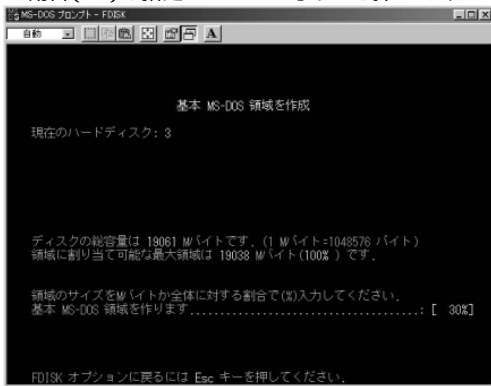
6. 「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択して「基本 MS-DOS 領域を作成」を選択してください。



7. ドライブチェック後「最大サイズを割り当てますか」と確認画面が表示されますので、ハードディスクの全領域を確保する場合は「Y」を選択して「Enter」キーを押してください。



- 領域を分けたい場合は「N」を選択し「基本 MS-DOS 領域を作ります」の項目に指定したいサイズもしくは全体に対する割合 (%) を指定して「Enter」キーを押してください。

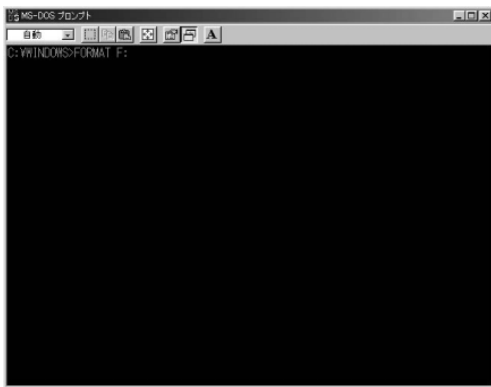


8. 設定が終了したら「ESC」でFDISKを終了します。コンピュータを再起動してください。
9. 「マイコンピュータ」を開いて「ローカルディスク( \* : )」と表示されているのが、USB接続したハードディスクです。「( )」の中に書かれているのが、このハードディスクのドライブ番号になります( 図の例ではF: )ドライブになります)。

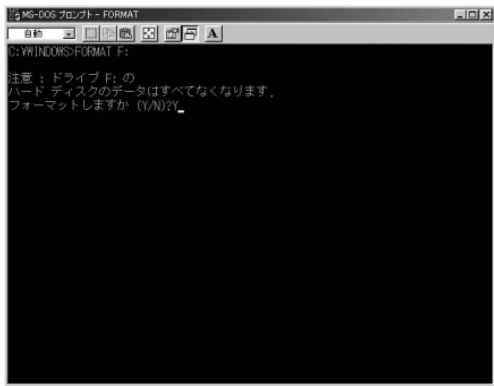


10. USB接続をしているハードディスクのドライブ番号を確認出来たら「スタート」「プログラム」「MS-DOSプロンプト」を起動してください。

- 11.** コマンド入力待ちになりましたら「FORMAT F:」と入力して「Enter」キーを押してください。(USB接続をしているハードディスクが「F:」の場合)

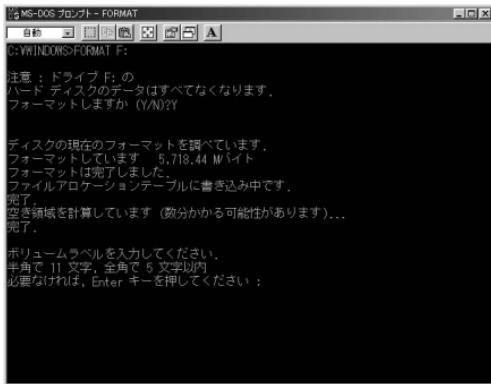
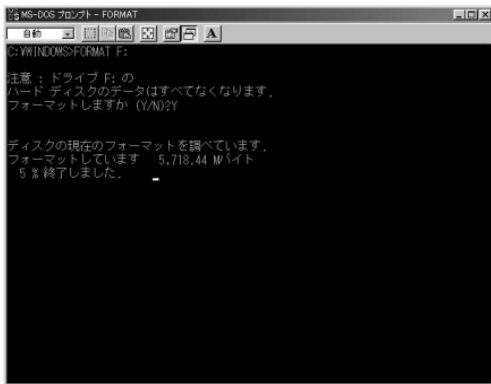


- 12.**「フォーマットしますか」と表示されるので「Y」を選択して「Enter」キーを押してください。



- 13.**「フォーマットしています」の下に表示されている「\*\*\*%終了しました。」が100%になったらフォーマットは終了です。フォーマット終了後ボリュームラベルを指定したい場合は指定して「Enter」キーを押してください。必要がなければそのまま「Enter」キーを押してください。





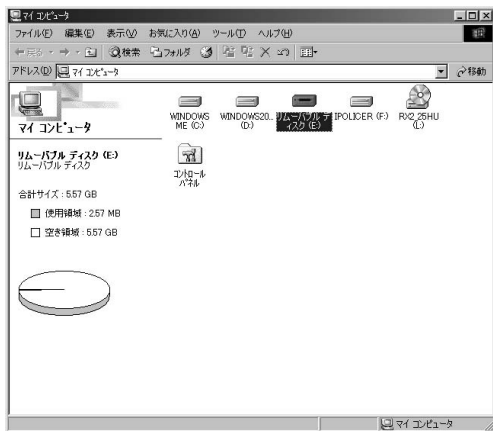
**14.** フォーマット終了後、ドライブは利用可能になります。

## リムーバブルディスクとして使用する場合

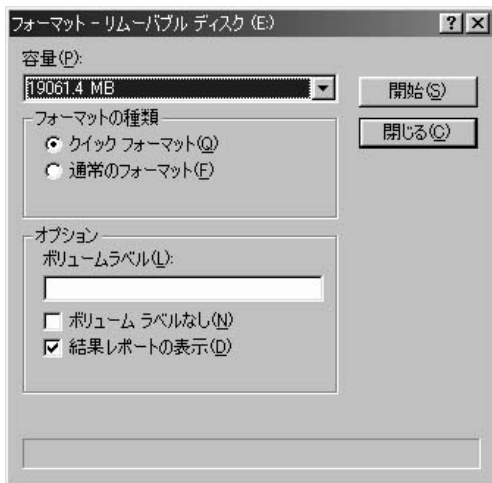
1. 「マイコンピュータ」を開いて「リムーバブルディスク(\*)」  
と表示されているのが、USB接続したハードディスクです。  
「(\*)」の中に書かれているのが、このハードディスクのド  
ライブ番号になります(図の例ではE:ドライブになります)。



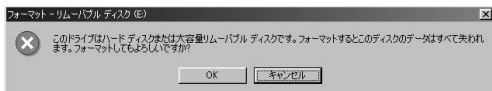
2. 「リムーバブルディスク(\*: )」のアイコンをクリックして「ファイル(F)」をクリックしてください。



- 3.** メニューから「フォーマット(A)...」を選択すると図のようなウィンドウが開きますので、「通常のフォーマット」をチェックして「開始(S)」をクリックしてください。(フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)



4. 「このドライブはハードディスクまたは大容量リムーバブルディスクです。...」と表示されるので「OK」をクリックしてください。



5. フォーマット終了後、ドライブは利用可能になります。



# Windows 2000へのインストール

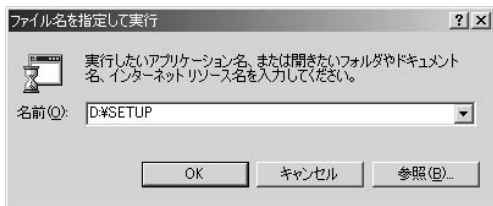
**本**章では本製品をWindows 2000で使用する場合のドライバのインストールおよびインストール方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

### ▲ 注意

本製品を接続する前にドライバのインストールを行ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、OSを起動してください。
2. 本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
3. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。



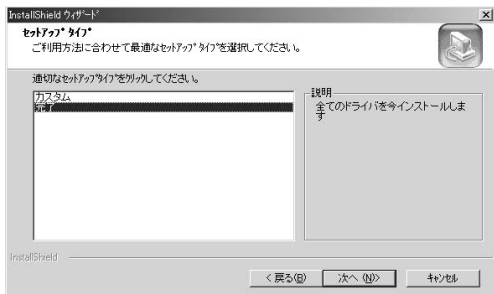
- 4.** インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」が表示されます。



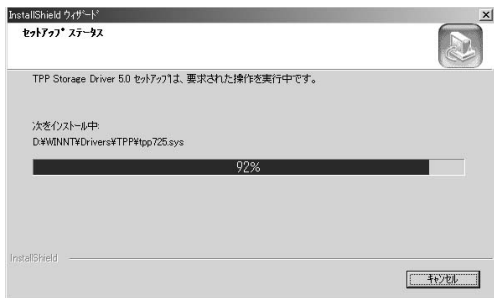
- 5.** 「TPP Storage Driver 5.0用のInstallShieldウィザードへようこそ」と表示されているのを確認し「次へ(N)>」をクリックしてください。



6. 「セットアップタイプ」が表示されますので、「完了」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



7. インストールが開始されます。終了するとデスクトップの画面に戻りますのでCD-ROMドライブよりCD-ROMを抜いてください。



8. インストールが終了し「InstallShieldウィザードの完了」が表示された場合 はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックしてください。



## 2 USB 1.1/2.0で使用する

本製品を、USB 1.1対応のUSBポートもしくはUSB 2.0対応のUSBポートに本製品付属のUSB2.0 IDE接続ケーブルを使って接続する方法について説明します。

1. USB2.0 IDE接続ケーブルのIDEコネクタ(オス)をポータブルハードディスクケースのIDEコネクタ(メス)に「カチッ」と音がするようにしっかりと取りつけます。

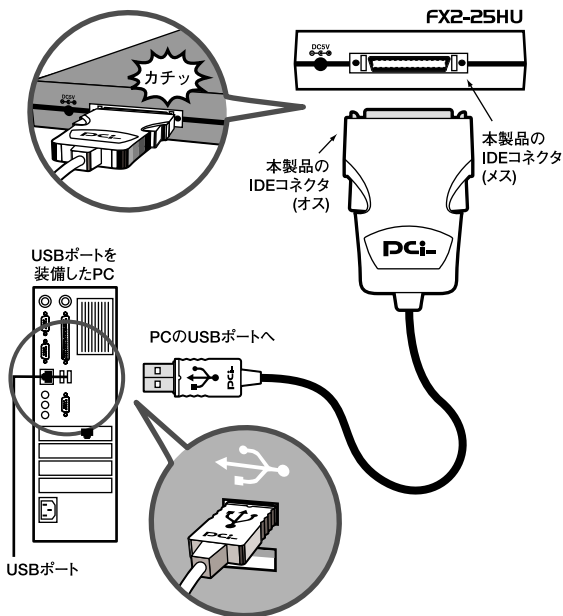


図4-1 IDEコネクタ接続図

2. ケース前面にあるスイッチが「OFF」になっていることを確認し、付属のACアダプタのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。もしくは、付属のキーボード電源ケーブルのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、キーボードコネクタに差し込んでください。
3. ケース前面にあるスイッチを「ON」にしてください。
4. コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込みます。

ドライバインストール後、初めて接続した場合は「新しいハードウェア」が起動し「USB Storage Adapter V3(TPP)」が検出され必要なソフトウェアが自動的にインストールされます。

#### 注意

「新しいハードウェアが見つかりました」で「USB大容量記憶装置デバイス」が検出された場合は、「デバイスマネージャ」 「USB (Universal serial Bus) コントローラ」内の「USB大容量記憶装置デバイス」を選択し、「操作」 「削除 (E)」で「USB大容量記憶装置デバイス」の削除を行った後、「第4章 5. ドライバの削除方法」を行い、再度「第4章 1. ドライバのインストール」を行って下さい。

「デバイスマネージャ」の表示方法は「第4章 3. インストールの確認」をご参照下さい。

- 5.** 一度ドライバがインストールされておりハードディスクのフォーマット等も終了している場合は、以降はUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを接続するだけで「マイコンピュータ」を開くと「ローカルディスク(固定ディスク)」と認識されて使用できるようになります。USBポートからUSB IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

**▲ 注意**

ポータブルハードディスクケース前面のLEDがオレンジ色に点灯(点滅)している時はハードディスクへアクセス中ですので、USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜いたり前面のスイッチをOFFにしないようにご注意ください。最悪の場合ハードディスクが壊れることがあります。

新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第4章 5 新しいハードディスクを使用する場合」をご覧ください。

### 3 インストールの確認

1. 「スタート」「設定」「コントロール パネル」の順で選択してください。



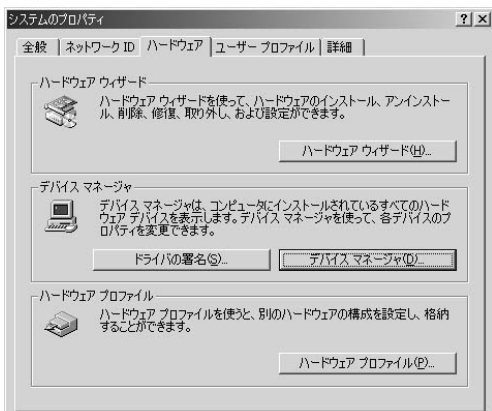
## 4

### Windows 2000 のインストール

2. 「コントロール パネル」ウィンドウで「システム」アイコンがあります。「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

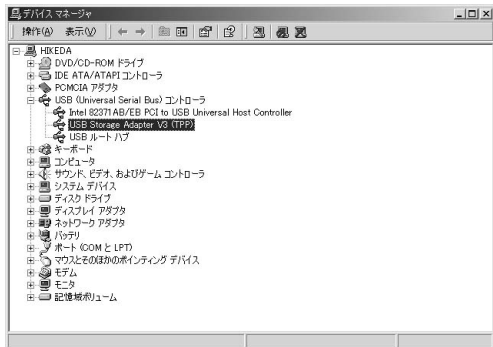


3. 「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。「ハードウェア」タブを選択して、「デバイスマネージャ」の中の「デバイスマネージャ」をクリックしてください。





4. 「USB ( Universal Serial Bus )コントローラ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。USBの一覧が表示されます。「USB ( Universal Serial Bus )コントローラ」の下に、「USB Storage Adapter V3( TPP )」が表示されているか確認してください。

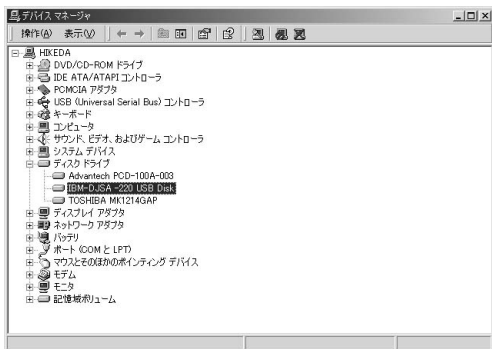


「USB Storage Adapter V3( TPP )」が表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第4章 4.ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第4章 1.ドライバのインストール」の手順で再度インストールします。

5. 「USB Storage Adapter V3(TPP)」を選択して「操作」から「プロパティ」を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されれば接続は正常です。



6. 次に「ディスク ドライブ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。ディスクドライブの一覧が表示されます。「ディスクドライブ」の下に、本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されているか確認してください。



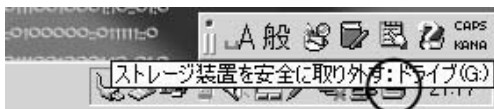
「ディスク ドライブ」の下にハードディスクの名前が表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第4章 5. ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第4章 1. ドライバのインストール」の手順で再度インストールします。

7. ハードディスクの名前を選択して「操作」から「プロパティ」を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されれば接続は正常に完了しています。



## 4 USB 2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法

1. デスクトップ上のタスクバーの右下に「ストレージ装置を安全に取り外す: ドライブ(\*:)」のアイコンがあります。アイコンをクリックしてください。  
(\*:)はドライブ番号を表します。



2. アイコンをクリックしますと本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されます。ハードディスクの名前を選択してクリックしてください。コンピュータがハードディスクの取り外しの準備をします。



3. コンピュータがハードディスクの取り外しの準備を終了したあとは、「USB Storage Adapter V3(TPP)」は安全に取り外すことができます。」が表示されます。「OK」をクリックしてください。



本製品をコンピュータから取り外してください。

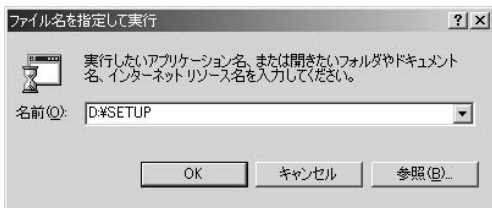
 **注意**

USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

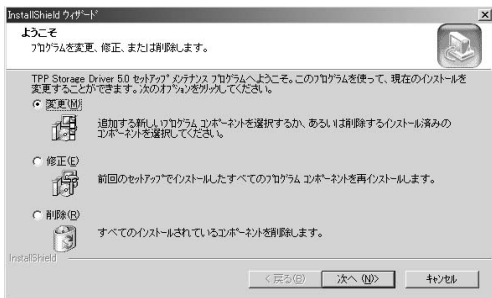
**4**

## 5 ドライバの削除方法

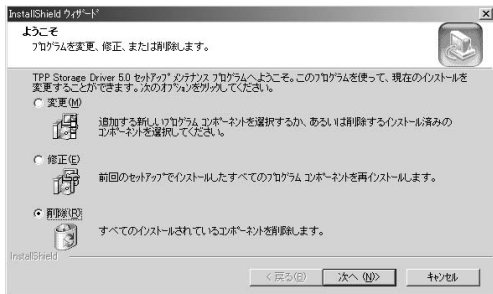
1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
2. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。



3. インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」の「プログラムを変更、修正、また削除します。」が表示されます。



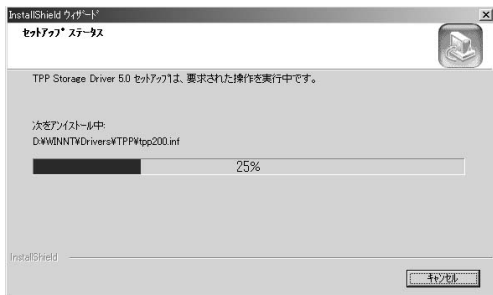
#### 4. 「削除」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



#### 5. 「ファイル削除の確認」が表示されますので「OK」をクリックしてください。



#### 6. 「セットアップステータス」が表示されます。





7. 「InstallShieldウィザードの完了」が表示されますので「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックし再起動をしてください。



## 6 新しいハードディスクを使用する

新しく買ってきたハードディスクをUSB接続で使用する手順を説明します。

### ⚠ 注意

「コンピュータの管理」で操作を誤ると現行使用中のハードディスクの内容を全て失うことになりますので、「コンピュータの管理」操作には十分ご注意ください。「コンピュータの管理」実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

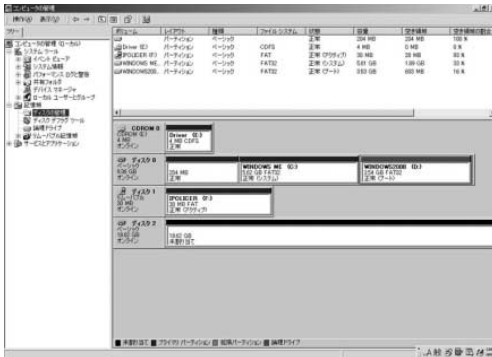
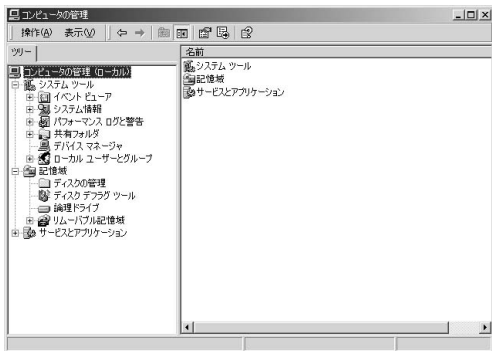
1. 「スタート」「設定」「コントロール パネル」「管理ツール」をダブルクリックして開いてください。



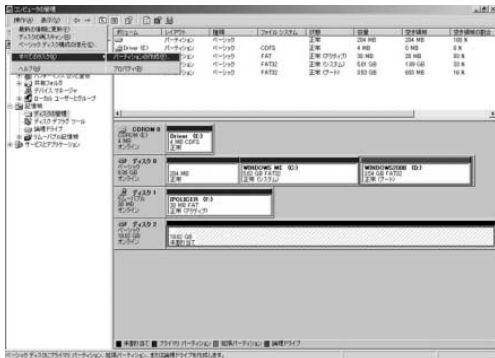
2. 「管理ツール」ウィンドウ内に「コンピュータの管理」アイコンがあります。「コンピュータの管理」アイコンをダブルクリックして開いてください。



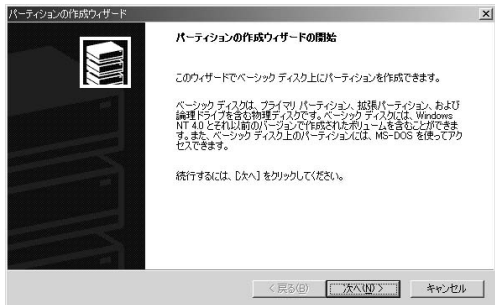
3. 「コンピュータの管理」ウィンドウが開きましたら、左側に「ツリー」タブがあります。「ツリー」タブのメニュー内に「記憶域」の下に「ディスクの管理」アイコンがあります。「ディスクの管理」アイコンをクリックしてください。右側に接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されます。



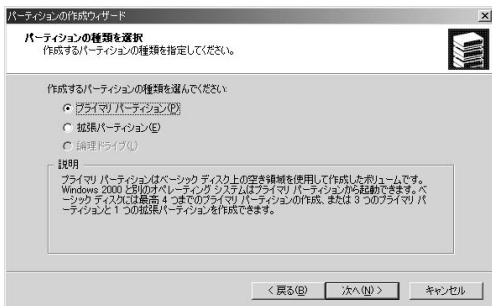
4. IDEハードディスクの一覧が表示されましたら、パーティションが割り当てられていないディスクを選択し、「操作」「すべてのタスク」「パーティションの作成」を選択してください。



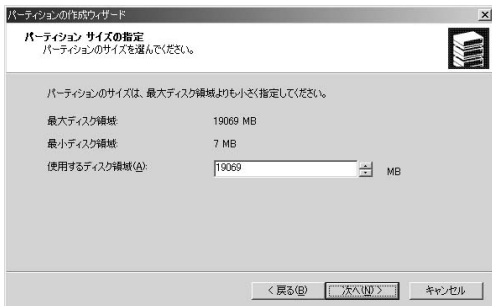
5. 「パーティションの作成ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



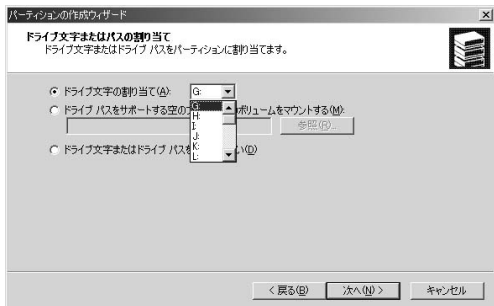
6. 「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されますので「プライマリパーティション(P)」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



7. 「パーティションサイズの指定」ウィンドウで使用するディスク領域を割り当ててください。ディスク領域サイズ決定しましたら「次へ(N)>」をクリックしてください。

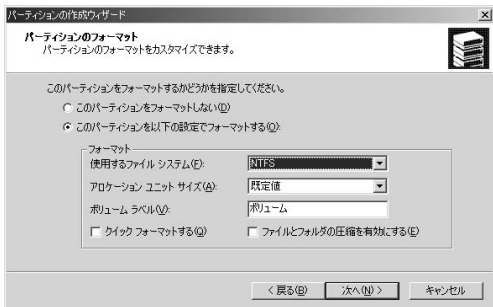


8. 「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウィンドウが表示されましたら、ディスクに割り当てるドライブ文字をリストから選択してください。ディスクにドライブ文字を割り当てましたら、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



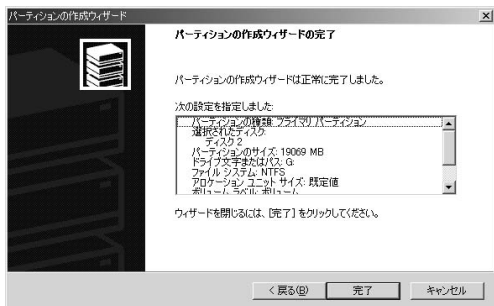
9. 「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されましたら、パーティションのフォーマットを実行するか選択してください。「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択した場合、パーティションの作成が完了したあと、自動的にフォーマットが開始されます(フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)。フォーマットの設定が終了しましたら、「次へ(N) >」ボタンをクリックしてください。

初期設定時では「使用するファイル システム」が「NTFS」になっていますが、Windows 98/98SE/Meのコンピュータでも使用されたい場合は「FAT32」にしてください。





- 10.**「パーティションの作成ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。「次の設定を指定しました:」リストから設定内容を確認してください。設定内容を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。設定を変更しない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。



### ⚠ 注意

手順9で説明しました「パーティションのフォーマット」ウインドウで「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択した場合、「完了」ボタンをクリックしたあと、自動的にフォーマットが開始されます（フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます）。

- 11.**フォーマット終了後、ディスクが利用可能になります。



# Windows XPへのインストール

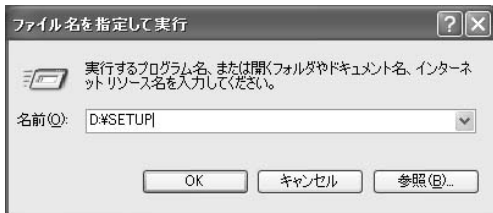
**本** 章では本製品をWindows XPで使用する場合のドライバのインストールおよびインストール方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

### ▲ 注意

本製品を接続する前にドライバのインストールを行ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、OSを起動してください。
2. 本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
3. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。

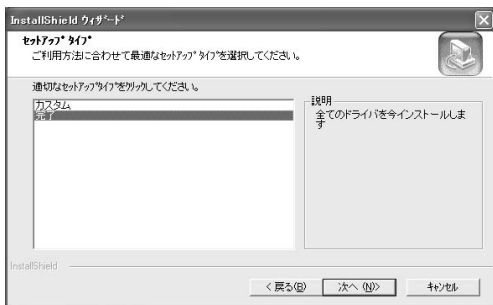


- 4.** インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」が表示されます。

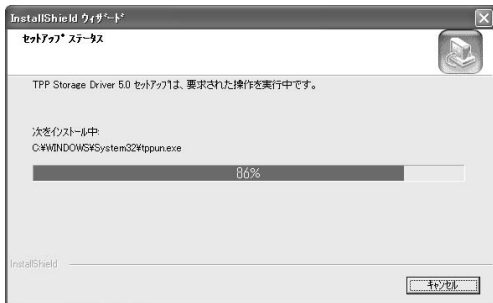


- 5.** 「TPP Storage Driver 5.0用のInstallShieldウィザードへようこそ」と表示されているのを確認し「次へ(N)>」をクリックしてください。

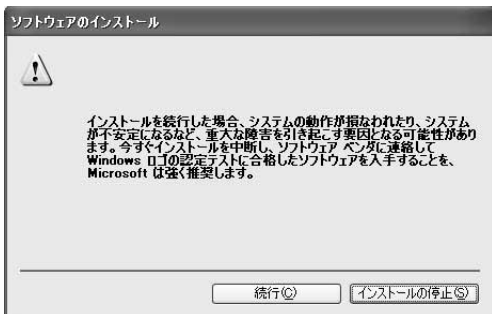
6. 「セットアップタイプ」が表示されますので、「完了」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



7. インストールが開始されます。終了するとデスクトップの画面に戻りますのでCD-ROMドライブよりCD-ROMを抜いてください。



8. セットアップ ステータスの途中で「インストールを続行した場合、システム・・・」と3回表示されますので、すべて「続行(C)」ボタンをクリックしてください。



9. インストールが終了し「InstallShieldウィザードの完了」が表示された場合は、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックしてください。



## 2 USB 1.1/2.0で使用する

本製品を、USB 1.1対応のUSBポートもしくはUSB 2.0対応のUSBポートに本製品付属のUSB2.0 IDE接続ケーブルを使って接続する方法について説明します。

1. USB2.0 IDE接続ケーブルのIDEコネクタ(オス)をポータブルハードディスクケースのIDEコネクタ(メス)に「カチッ」と音がするようにしっかりと取りつけます。

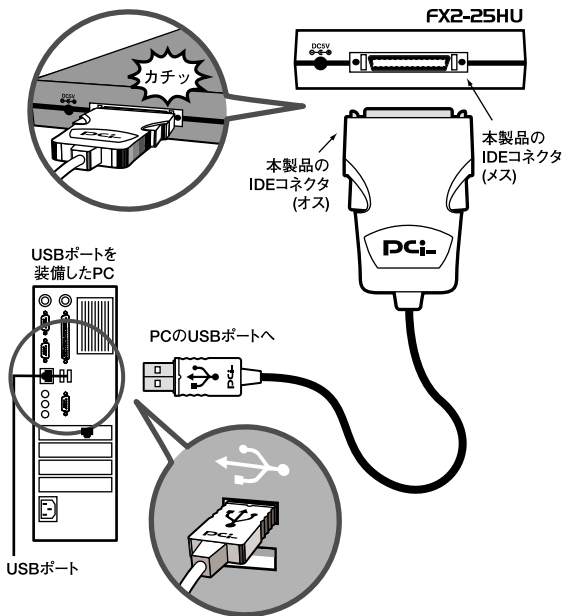
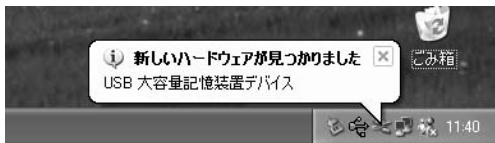


図5-1 IDEおよびUSBコネクタ接続図

2. ケース前面にあるスイッチが「OFF」になっていることを確認し、付属のACアダプタのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。もしくは、付属のキーボード電源ケーブルのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、キーボードコネクタに差し込んでください。
3. ケース前面にあるスイッチを「ON」にしてください。
4. コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込みます。
5. ドライバインストール後、初めて接続した場合は「新しいハードウェア」が起動し「USB 大容量記憶装置デバイス」が検出され必要なソフトウェアが自動的にインストールされます。





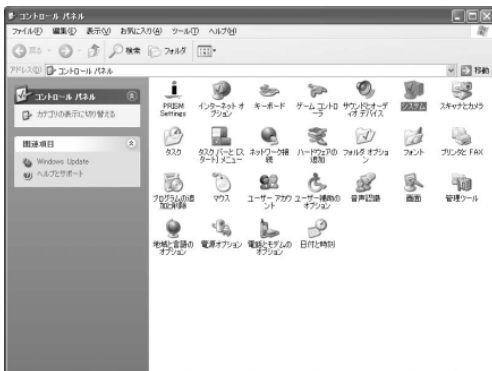
6. インストール終了後「スタート」「コントロールパネル」を選択してください。



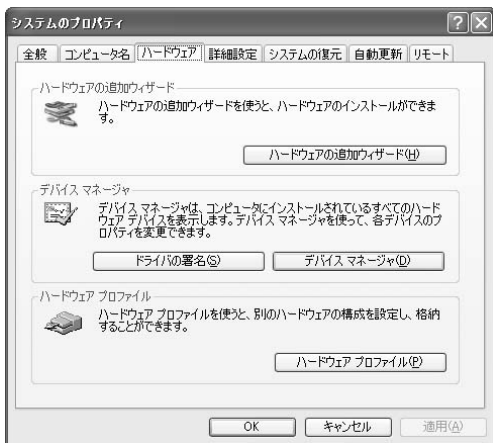
7. 「コントロールパネル」ウィンドウの左上に「クラシック表示に切り替える」がありますので、「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。



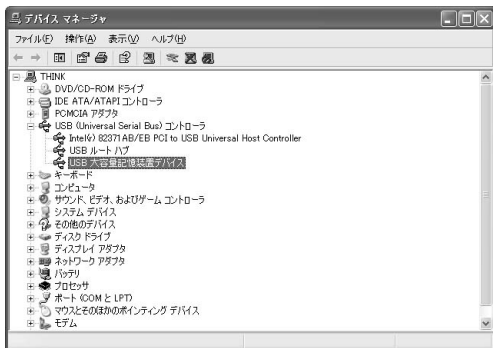
8. 切り替えると「コントロール パネル」ウィンドウの中に「システム」アイコンがあります。「システム」アイコンをダブルクリックしてください。



9. 「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。「ハードウェア」タブを選択して、「デバイスマネージャ」の中の「デバイスマネージャ」をクリックしてください。



10. 「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。USBの一覧が表示されます。「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されているか確認してください。



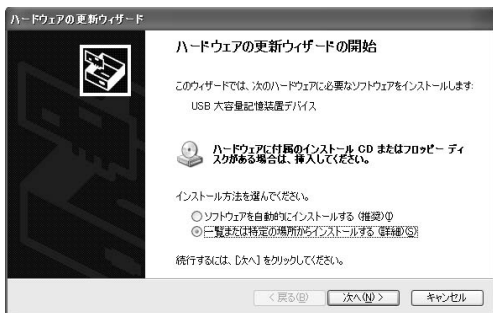
11. 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して「操作」から「プロパティ」を開きます。



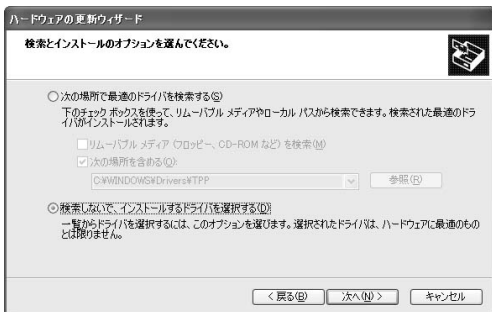
- 12.**「USB 大容量記憶装置デバイスのプロパティ」が表示されます。「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新(P)」ボタンをクリックしてください。



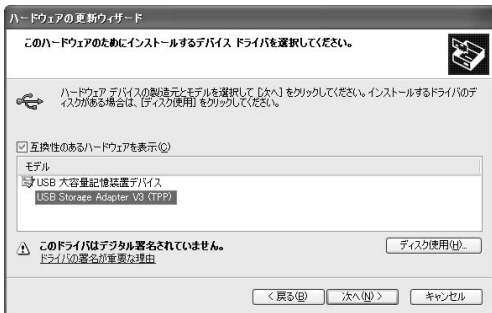
- 13.**「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)(S)」を選択して「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



- 14.**「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されますので「検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)」を選択して「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



- 15.**「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選択してください。」が表示されますので、「USB Storage Adapter V3(TPP)」を選択して「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



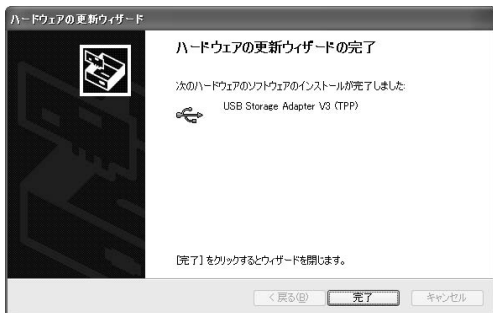
## 16. ソフトウェアのインストールが開始されます。



17. ソフトウェアのインストールの途中で「インストールを続行した場合、システム・・・」と3回表示されますので、すべて「続行(C)」ボタンをクリックしてください。



- 18.**「ハードウェアの更新ウィザードの完了」が表示されるので「完了」ボタンをクリックしてください。



- 19.**「USB Storage Adapter V3 (TPP)のプロパティ」が表示されるので「閉じる」ボタンをクリックしてください。





一度ドライバがインストールされておりハードディスクのフォーマット等も終了している場合は、以降はUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを接続するだけで「マイコンピュータ」を開くと「ローカルディスク(固定ディスク)」と認識されて使用できるようになります。USBポートからUSB IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

### 注意

ポータブルハードディスクケース前面のLEDがオレンジ色に点灯(点滅)している時はハードディスクへアクセス中ですので、USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜いたり前面のスイッチをOFFにしないようにご注意ください。最悪の場合ハードディスクが壊れることがあります。

新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第5章 6 新しいハードディスクを使用する場合」をご覧ください。

### 3 インストールの確認

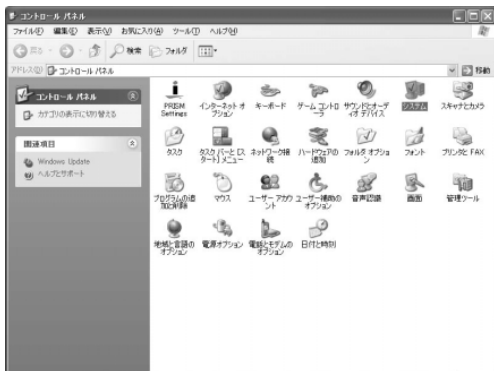
1. 「スタート」「コントロール パネル」の順で選択してください。



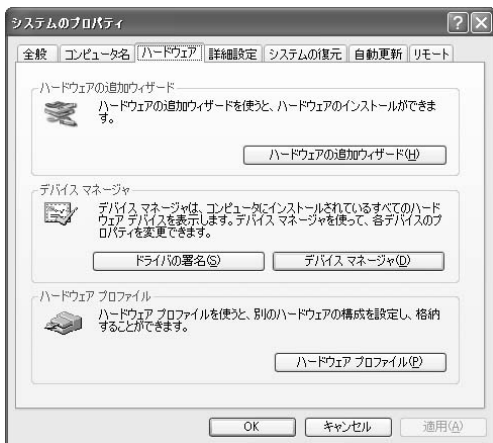
- 2.**「コントロールパネル」ウィンドウの左上に「クラシック表示に切り替える」がありますので、「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。



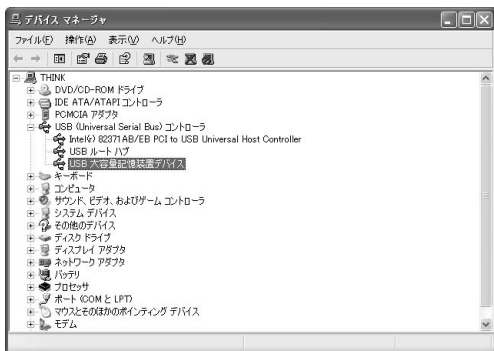
- 3.**切り替えると「コントロール パネル」ウィンドウの中に「システム」アイコンがあります。「システム」アイコンをダブルクリックしてください。



4. 「システムのプロパティ」ウインドウが表示されます。「ハードウェア」タブを選択して、「デバイスマネージャ」の中の「デバイスマネージャ」をクリックしてください。



5. 「USB ( Universal Serial Bus )コントローラ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。USBの一覧が表示されます。「USB ( Universal Serial Bus )コントローラ」の下に、「USB Storage Adapter V3( TPP )」が表示されているか確認してください。

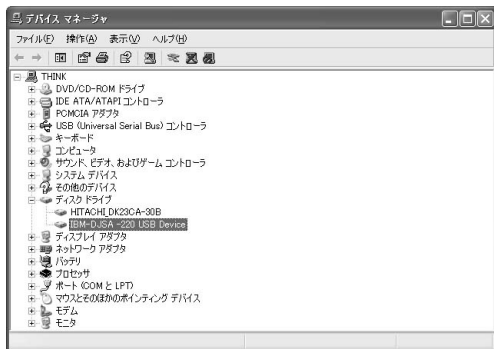


「USB Storage Adapter V3( TPP )」が表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第5章 5. ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第5章 1. ドライバのインストール」の手順で再度インストールします。

6. 「USB Storage Adapter V3(TPP)」を選択して「操作」から「プロパティ」を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されれば接続は正常です。



7. 次に「ディスク ドライブ」アイコンの左側に「+」ボタンが表示されています。「+」ボタンをクリックしてください。ディスクドライブの一覧が表示されます。「ディスクドライブ」の下に、本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されているか確認してください。



「ディスク ドライブ」の下にハードディスクの名前が表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第5章 5. ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第5章 1. ドライバのインストール」の手順で再度インストールします。

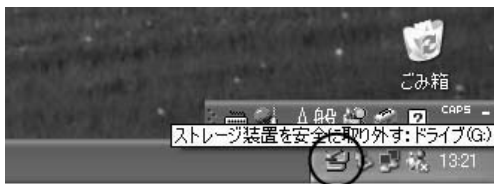
8. ハードディスクの名前を選択して「操作」から「プロパティ」を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されれば接続は正常に完了です。



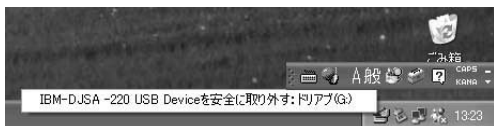


## 4 USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法

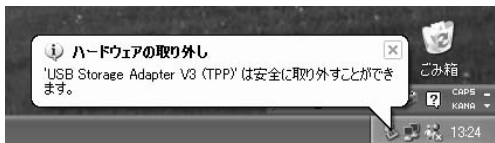
1. デスクトップ上のタスクバーの右下に「ストレージ装置を安全に取り外す: ドライブ(\*:)」のアイコンがあります。アイコンをクリックしてください。  
(\*:)はドライブ番号を表します。



2. アイコンをクリックしますと本製品に取り付けられているハードディスクの名前が表示されます。ハードディスクの名前を選択してクリックしてください。コンピュータがハードディスクの取り外しの準備をします。



3. コンピュータがハードディスクの取り外しの準備を終了したあとは、「USB Storage Adapter V3 (TPP)」は安全に取り外すことができます。」が表示されます。



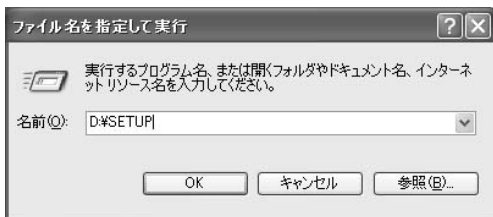
本製品をコンピュータから取り外してください。

**注意**

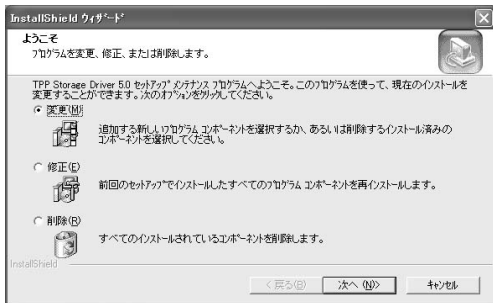
USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

## 5 ドライバの削除方法

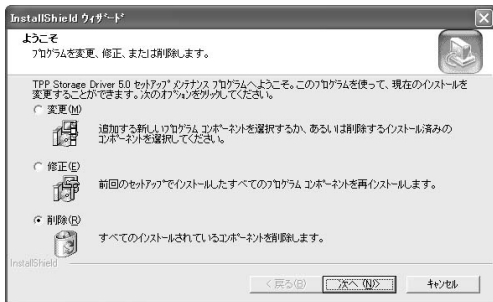
1. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
2. 「スタート」「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前(O)」に「D:¥SETUP」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して「OK」をクリックして下さい。



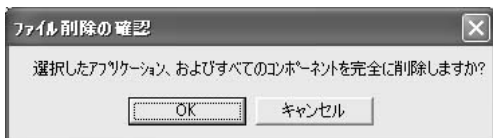
3. インストールプログラムが起動し、「InstallShieldウィザード」の「プログラムを変更、修正、また削除します。」が表示されます。



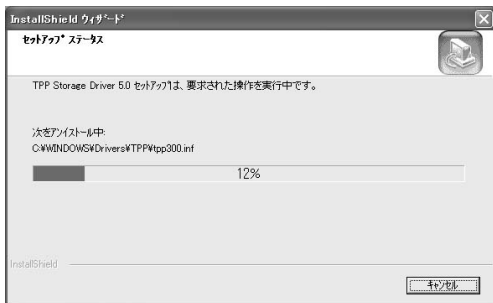
#### 4. 「削除」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



#### 5. 「ファイル削除の確認」が表示されますので「OK」をクリックしてください。



#### 6. 「セットアップステータス」が表示されます。



7. 「InstallShieldウィザードの完了」が表示されますので「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」をクリックし再起動をしてください。



## 6 新しいハードディスクを使用する

新しく買ってきたハードディスクをUSB接続で使用する手順を説明します。

### 注意

「コンピュータの管理」で操作を誤ると現行使用中のハードディスクの内容を全て失うこととなりますので、「コンピュータの管理」操作には十分ご注意ください。「コンピュータの管理」実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

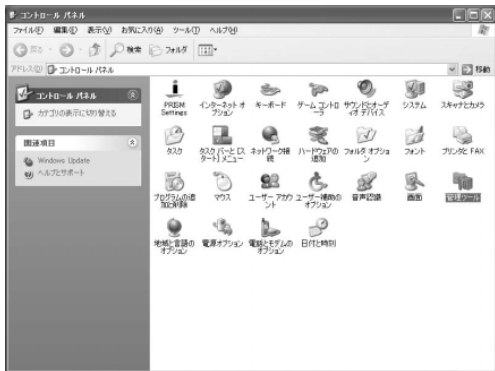
1. 「スタート」「コントロール パネル」の順で選択してください。



- 2.**「コントロールパネル」ウィンドウの左上に「クラシック表示に切り替える」がありますので、「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。



- 3.**切り替えると「コントロール パネル」ウィンドウの中に「管理ツール」アイコンがあります。「管理ツール」アイコンをダブルクリックしてください。

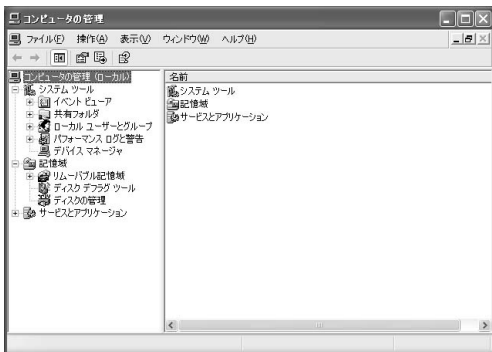




4. 「管理ツール」ウィンドウ内に「コンピュータの管理」アイコンがあります。「コンピュータの管理」アイコンをダブルクリックして開いてください。



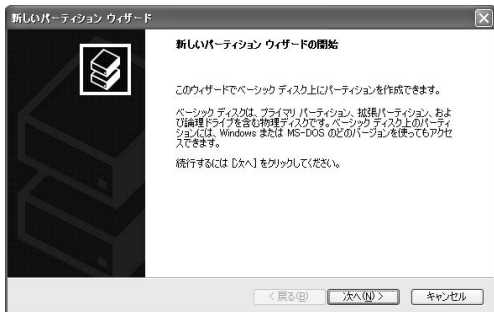
5. 「コンピュータの管理」ウィンドウが開きましたら、左側に「ツリー」タブがあります。「ツリー」タブのメニュー内に「記憶域」の下に「ディスクの管理」アイコンがあります。「ディスクの管理」アイコンをクリックしてください。右側に接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されます。



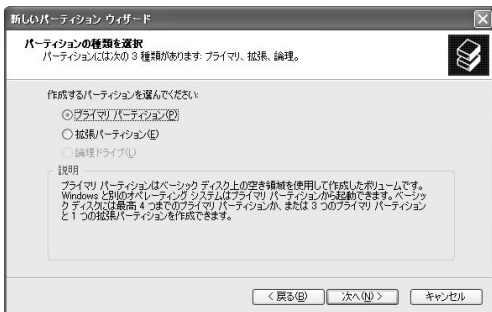
6. IDEハードディスクの一覧が表示されましたら、パーティションが割り当てられていないディスクを選択し、「操作」「すべてのタスク」「パーティションの作成」を選択してください。



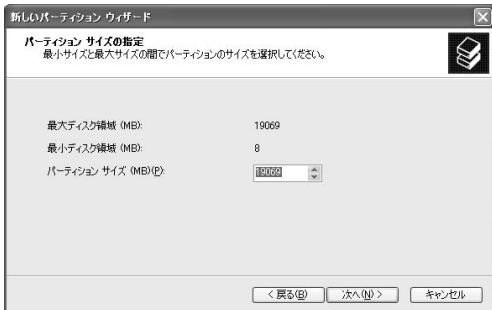
7. 「新しいパーティション ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



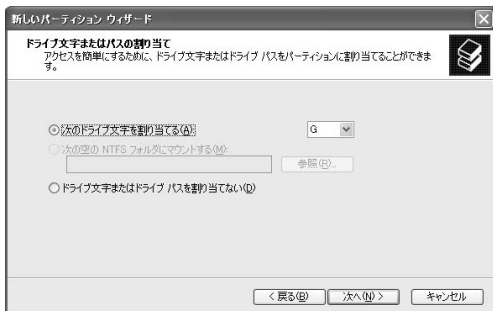
8. 「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されますので「プライマリパーティション(P)」を選択して「次へ(N)>」をクリックしてください。



9. 「パーティションサイズの指定」ウィンドウで使用するディスク領域を割り当ててください。ディスク領域サイズ決定しましたら「次へ(N)>」をクリックしてください。

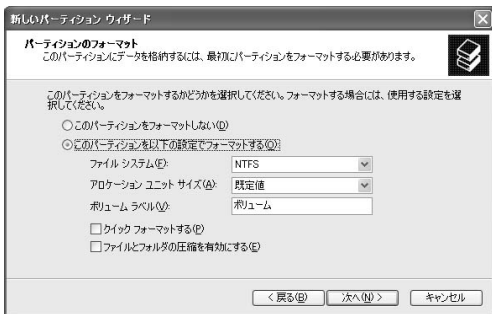


- 10.**「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウィンドウが表示されましたら、ディスクに割り当てるドライブ文字をリストから選択してください。ディスクにドライブ文字を割り当てましたら、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



**11.**「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されましたら、パーティションのフォーマットを実行するか選択してください。「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択した場合、パーティションの作成が完了したあと、自動的にフォーマットが開始されます(フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)。フォーマットの設定が終了しましたら、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。

初期設定時では「使用するファイル システム」が「NTFS」になっていますが、Windows 98/98SE/Meのコンピュータでも使用されたい場合は「FAT32」にしてください。



- 12.**「パーティションの作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「次の設定を指定しました:」リストから設定内容を確認してください。設定内容を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。設定を変更しない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。



**注意**

手順9で説明しました「パーティションのフォーマット」ウィンドウで「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択した場合、「完了」ボタンをクリックしたあと、自動的にフォーマットが開始されます（フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます）。

- 13.**フォーマット終了後、ディスクが利用可能になります。





# Macintosh( MacOS 8.6以降 ) へのインストール

**本**章では本製品をMacOS 8.6以降で使用する場合のドライバのインストールおよびインストール方法について説明します。  
現時点(2002年2月現在)でMac OS 8.6以降によるUSB 2.0は対応していないため、ご使用できるのはUSB 1.1のみとなります。

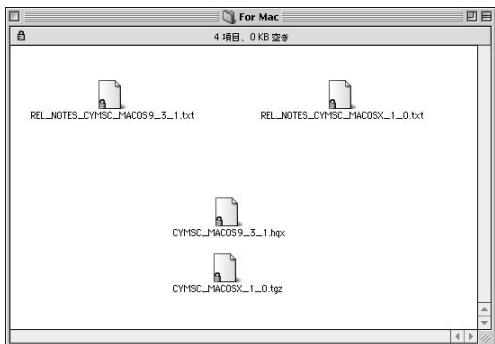
## 1 ドライバのインストール

### 注意

本製品を接続する前にドライバのインストールを行ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、OSを起動してください。
2. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
3. CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

- 4.** CD-ROM内の「MACOS9.HPX」をデスクトップ上にドラックしてコピーしてください。

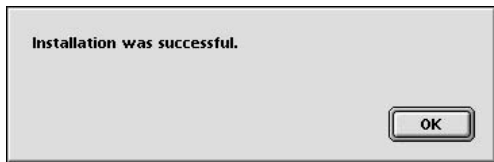


- 5.** デスクトップ上にコピーした「MACOS9.HPX」をダブルクリックしてください。
- 6.** 解凍が始まりデスクトップ上に「Cypress MSC Driver Installer」フォルダと「Cypress MSC Driver Instal/.sit」が展開されます。
- 7.** 「Cypress MSC Driver Installer」フォルダをダブルクリックしてください。

8. 「Install Cypress MSC Driver」をダブルクリックしてください。「Cypress MSC Driver」ドライバがインストールされます。



9. 「Installation was successful」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ドライバのインストールは完了です。展開されたファイルとフォルダはゴミ箱に捨ててください。



## 2 USB 1.1で使用する

本製品を、USB 1.1対応のUSBポートに本製品付属のUSB2.0 IDE接続ケーブルを使って接続する方法について説明します。

1. USB2.0 IDE接続ケーブルのIDEコネクタ(オス)をポータブルハードディスクケースのIDEコネクタ(メス)に「カチッ」と音がするようにしっかりと取りつめます。

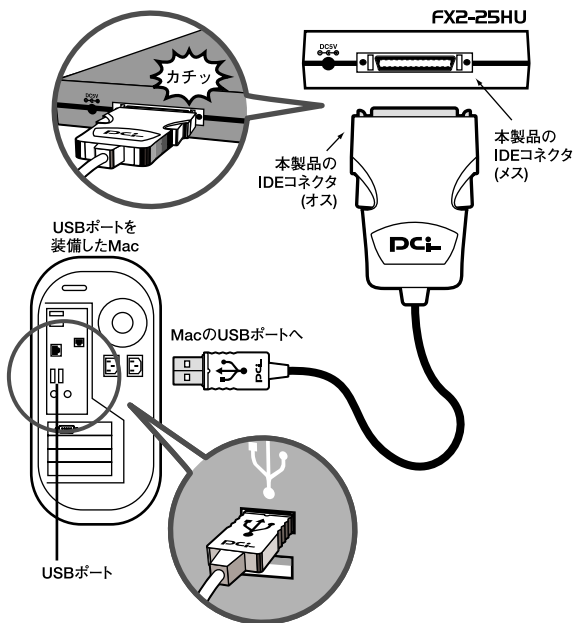
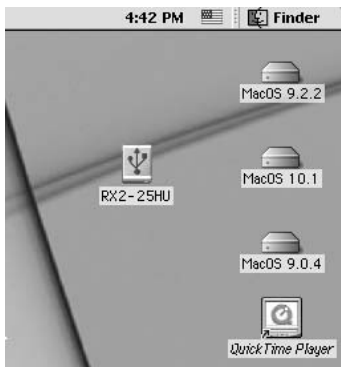


図6-1 IDEおよびUSBコネクタ接続図

2. ケース前面にあるスイッチが「OFF」になっていることを確認し、付属のACアダプタのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差込みます。
3. ケース前面にあるスイッチを「ON」にしてください。
4. コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込みます。
5. MacintoshもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込むとデスクトップ上にドライブアイコンが表示されて使用可能になります。



Windows上でフォーマットしたハードディスクは、Mac OS上でも読み書きすることができます。一度フォーマットを行ったディスクを使用する場合は、USBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込むだけで使用可能になります。

### 注意

ポータブルハードディスクケース前面のLEDがオレンジ色に点灯(点滅)している時はハードディスクへアクセス中ですので、USBポートからUSB IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜いたり前面のスイッチをOFFにしないでください。最悪の場合ハードディスクが壊れることがあります。新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第6章 6. 新しいハードディスクを使用する場合」をご覧ください。

## 3 インストールの確認

1. 「Appleメニュー」「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」をクリックしてください。



6

Macintosh (Mac OS 8.6以降)へのインストール

## 2. 「機能拡張マネージャ」の中に「Cypress MSC Driver」が表示されているか確認してください。



「Cypress MSC Driver」が表示されていない場合は、ドライバのインストールが終了していませんので「第6章 1.ドライバのインストール」の手順で再度インストールを実行してください。

3. 「Cypress MSC Driver」の「使用/停止」にチェックマークが入っているか確認してください。チェックマークが入っていない場合は、ボックスをクリックしてチェックマークを入れて「再起動」ボタンをクリックしてください。





## 4 USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法

1. デスクトップ上のUSBディスクのアイコンをごみ箱に移動させてください。
2. 本製品をコンピュータから取り外してください。

### 注意

USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

USBケーブルを本体から抜く場合は、デスクトップ上のアイコンを「ごみ箱」へ入れてから外すようにしてください。ケーブルをいきなり抜くと「このディスクに問題が発生しました」というメッセージが表示されます。

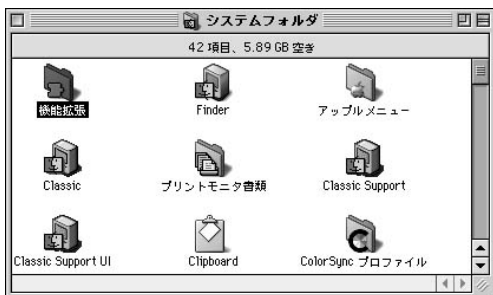
## 5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

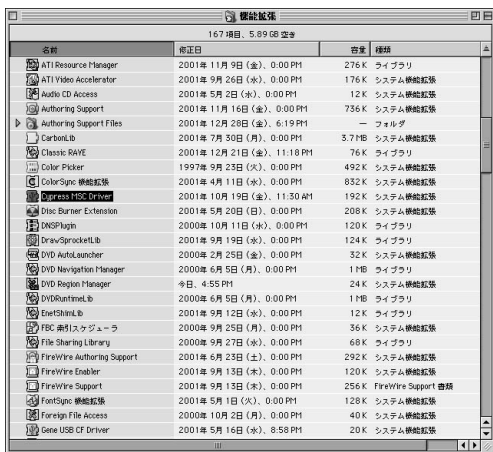
1. 本製品を「第6章 4.USB2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法」で取り外してください。
2. デスクトップからハードディスクを開いてください。
3. システムフォルダから機能拡張フォルダを開いてください。



## 6



#### 4. 機能拡張フォルダの中の「Cypress MSC Driver」ファイルをゴミ箱に捨ててください。



## 6 新しいハードディスクを使用する

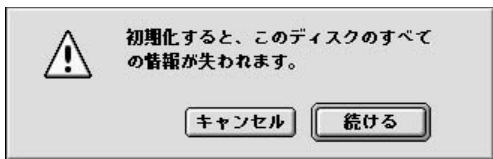
新しく買ってきたハードディスクをUSB接続で使用する手順を説明します。

1. USBポートに接続すると、「このディスクは、このコンピュータで読み込むことができません。ディスクを初期化しますか?」と表示されます。



2. 「名前」にハードディスクの名称を設定し、「フォーマット」でハードディスクのフォーマット形式を指定して「初期化」をクリックしてください。MS-DOS形式でフォーマットしたハードディスクは、Windows上でも読み書きすることができます。

- 3.**「初期化はハードディスク上のすべての情報を消去します」と表示されますので、フォーマットを実行する場合は「続ける」をクリックしてください。フォーマットが開始されます（フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます）。



- 4.**フォーマット終了後はハードディスクが使用できるようになります。



# Macintosh (MacOS 10.1以降)へのインストール

**本**章では本製品をMacOS 10.1以降で使用する場合のドライバのインストールおよびインストール方法について説明します。

現時点(2002年2月現在)でMacOSによるUSB 2.0は対応していないためご使用できるのはUSB 1.1のみとなります。

MacOS 10.1以降にて使用される場合にはMacOS 10.1以降のインストール時に設定したユーザー名とパスワードが必要になりますのでご用意ください。

管理者制限のあるユーザー以外でログインしている場合は、管理者制限のあるユーザーで再ログインしてください。

## 1 ドライバのインストール

### 注意

本製品を接続する前にドライバのインストールを行ってください。

1. コンピュータの電源を入れ、OSを起動してください。
2. 本製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
3. CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

- 4.** CD-ROM内の「MACOSX.TGZ」をデスクトップ上にドラックしてコピーしてください。



- 5.** デスクトップ上の「MACOSX.TGZ」をダブルクリックしてください。
- 6.** 解凍が始まりデスクトップ上に「Cypress USB Storage.pkg」が展開されます。



7. 「Cypress USB Storage.pkg」をダブルクリックしてください。



8. 「Cypress USB Storage Driverをインストール」が表示されます。



9. 「認証」の下に「このソフトウェアをインストールするには、正しい管理者パスワードが必要です。」と表示されるのでカギマークボタンをクリックしてください。



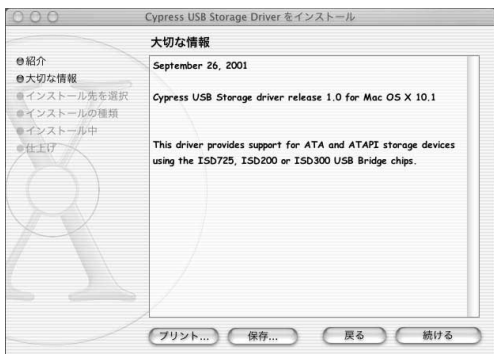
10. 「“Installer”を使って変更を加えるには、管理者のパスワードが必要です。」と表示されるので、「ユーザ名」と「パスワード」を正確に入力し「OK」ボタンをクリックしてください。



- 11.**「ようこそCypress USB Storage Driverインストールへ」と表示されるので「続ける」ボタンをクリックしてください。



- 12.**「大切な情報」が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



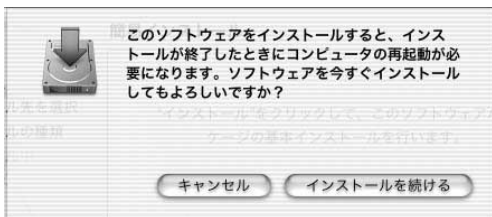
- 13.**「インストール先を選択」が表示されますので、現在稼動しているシステムの入っているハードディスクを選択して「続ける」をクリックしてください。



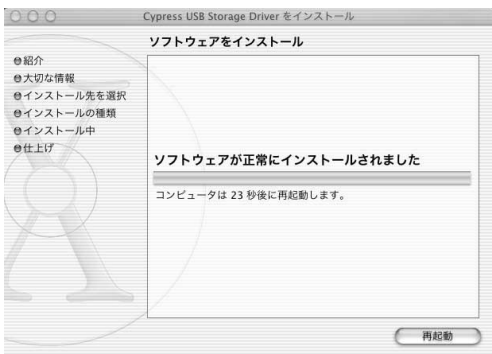
- 14.**「簡易インストール」が表示されます。「インストール」をクリックしてください。



- 15.**「このソフトウェアをインストールすると・・・」と表示されるので「インストールを続ける」ボタンをクリックしてください。



- 16.**「ソフトウェアが正常にインストールされました」が表示されます。30秒後に自動的に再起動が行われます。すぐに再起動を行う場合は「再起動」ボタンをクリックしてください。



- 17.**ドライバのインストールは完了です。

## 2 USB 1.1で使用する

本製品を、USB 1.1対応のUSBポートに本製品付属のUSB2.0 IDE接続ケーブルを使って接続する方法について説明します。

1. USB IDE接続ケーブルのIDEコネクタ(オス)をポータブルハードディスクケースのIDEコネクタ(メス)に「カチッ」と音がするようにしっかりと取りつけます。

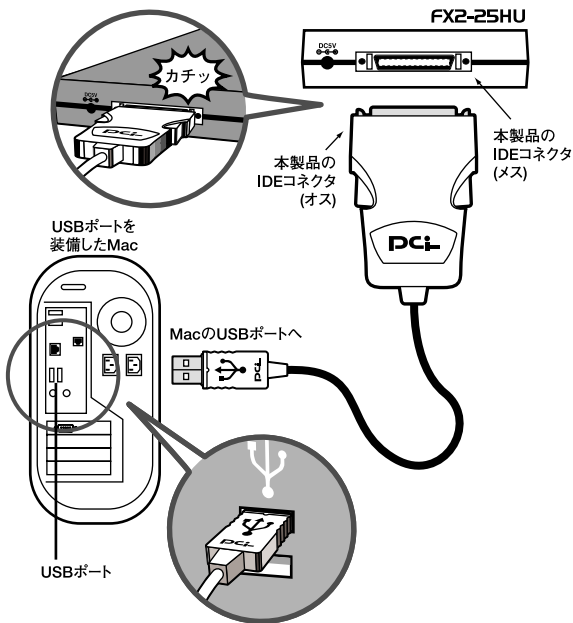
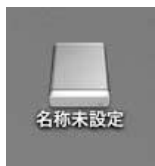


図7-1 IDEコネクタおよびUSBポート接続図

2. ケース前面にあるスイッチが「OFF」になっていることを確認し、付属のACアダプタのジャックをポータブルハードディスクケースの電源コネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差込みます。
3. ケース前面にあるスイッチを「ON」にしてください。
4. コンピュータもしくはUSBハブのUSBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込みます。
5. MacintoshもしくはUSBハブのUSBポートにUSB IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込むとデスクトップ上にドライブアイコンが表示されて使用可能になります。



一度フォーマットを行ったディスクを使用する場合は、USBポートにUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを差し込むだけで使用可能になります。

### 注意

ポータブルハードディスクケース前面のLEDがオレンジ色に点灯(点滅)している時はハードディスクへアクセス中ですので、USBポートからUSB2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜いたり前面のスイッチをOFFにしないようにしてください。最悪の場合ハードディスクが壊れることがあります。

新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第7章 5.新しいハードディスクを使用する場合」をご覧ください。

### 3 インストールの確認

1. 「第7章 2. USB 1.1で使用する」の手順で本製品を接続してください。
2. デスクトップからMac OS Xの入っているハードディスクを開いてください。



## 7



3. 「Applications」フォルダをダブルクリックして開いてください。



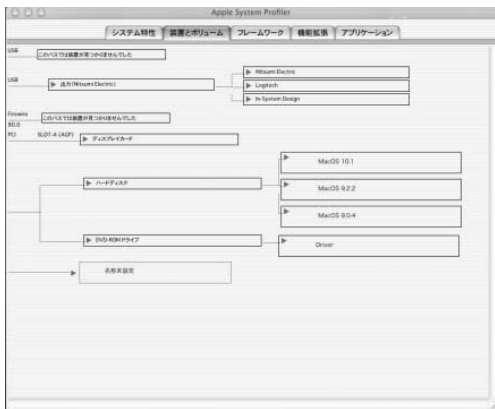
4. 「Utilities」フォルダをダブルクリックして開いてください。



5. 「Apple System Profiler」をダブルクリックしてください。



6. 「Apple System Profiler」が起動しますので、「装置とボリューム」タブをクリックしてください。



7. 現在接続されている装置の一覧が表示されます。一覧の中に「第7章 2.USB 1.1で使用する」もしくは「第7章 5.新しいハードディスクを使用する」で作成したボリューム名が表示されているか確認してください。





## 4 USB 2.0 IDE接続ケーブルの取り外し方法

1. デスクトップ上のUSBディスクのアイコンをごみ箱に移動させてください。
2. 本製品をコンピュータから取り外してください。

### 注意

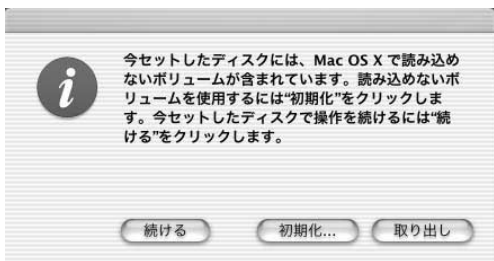
USBポートからUSB 2.0 IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜く時は、ポータブルハードディスクケース前面のアクセスLEDが緑色になっている時に行ってください。

USBケーブルを本体から抜く場合は、デスクトップ上のアイコンを「ごみ箱」へ入れてから外すようにしてください。ケーブルをいきなり抜くと「このディスクに問題が発生しました」というメッセージが表示されます。

## 5 新しいハードディスクを使用する

新しく買ってきたハードディスクをUSB接続で使用する手順を説明します。

1. USBポートに接続すると、「今セットしたディスクには、Mac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。…」と表示されます。「初期化…」をクリックしてください。



2. Disk Utilityが起動します。左側に現在接続しているハードディスクが表示されますので、「情報」タブを選択し接続バスが「USB」になっているハードディスクを選択してください。



3. 「パーティション」タブをクリックしてください。下記の画面が表示されます。



4. 「ボリュームの方式:」で設定したいパーティションの数を指定してください。



5. パーティションの数を設定すると下側に分割されたパーティションのイメージが表示されます。



6. 「名称未設定」をクリックしてください。ボリューム情報の枠の中に「名称未設定」の情報が表示されます。以下の項目を設定して「OK」をクリックしてください。

「名前」

デスクトップ上で表示されるので任意の名前を入力してください。

「フォーマット」

Mac OS 10.1以降でご使用される場合は「Mac OS 拡張」もしくは「Mac OS 標準」に指定してください。

「サイズ」

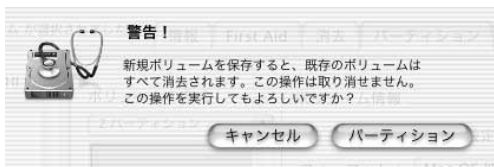
接続しているハードディスクの容量内で指定してください。

複数のパーティションを作成している場合は同じ操作を繰り返してください。





7. 「警告!」が表示されるので「パーティション」をクリックしてください。



8. フォーマット終了後はハードディスクが使用できるようになります。





# トラブルシューティング

**1**ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

デバイスマネージャーの画面でドライバに「！」マークがついてしまってもうまく動作しない  
ACアダプタを接続しているか確認してください。本製品をUSB接続で使用する場合はACアダプタが必要です。一旦USBポートから外して電源コネクタにACアダプタを取りつけてから、再度USBポートにセットしてください。

USBハブにUSBケーブルを差したが何も認識しない  
USBハブを使用している場合は、ハブを間に入れずコンピュータに直接USBケーブルを差し込んでみてください。

インストール中にキャンセルしたら認識しなくなった  
[コントロールパネル] [システム] [デバイスマネージャー]を開いて「その他のデバイス」や「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の中に「！」マークのついた「USB to IDE Adapter」が入ってないか確認してください。入っている場合これを削除し、USBポートからUSB IDE接続ケーブルのUSBコネクタを抜いて再度差し込んでみてください。

ドライバを組み込んだがドライブが認識されない  
新しく用意したハードディスクは領域確保とフォーマットを行う必要があります。各章の「新しいハードディスクを使用する」を参考に設定を行ってください。

IDE接続と比べてコピーのスピードが遅い  
製品の仕様上、USB接続の場合はIDEよりも転送速度は遅くなります。

# 仕様

B

仕様

## USB 2.0 IDE接続ケーブル

< 規格 >

USB spec1.1/2.0

< 電源供給 >

ケーブルからのバス電源

< 消費電力 >

100mA

< ケーブル長 >

1.2m

< コネクタ >

USB タイプA プラグ、セントロニクス36 ピン(オス)

< 動作温度 >

0 ~ 40

< 動作湿度 >

35% ~ 80%(結露しない事)

< 素材 >

プラスチック

< 重量 >

75g

< 寸法 >

69.66 x 41.96 x 14.40mm

< EMI >

FCC CLASS B、CE

## 2.5 インチポータブルハードディスクケース

< 電源供給 >

AC アダプタ

< 消費電力 >

HDD に準拠

< コネクタ >

セントロニクス36 ピン(メス)

< 動作温度 >

0 ~ 40 (HDD は除く)

< 動作湿度 >

35% ~ 80% (HDD は除く・結露しない事)

< 素材 >

プラスチック

< 重量 >

10g (HDD 重量は含まず)

< 寸法 >

145.0 × 83.5 × 22.5mm

< EMI >

FCC Class B、CE







## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

## 質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

**FAX : 03-5614-1018**

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名	USB2.0接続2.5インチポータブルハードディスクケース		
型番 Product No.	<b>RX2-25HU</b>		
製造番号 Serial No.			

### ご使用のコンピュータ

メーカー			
型番		OS	

### ご使用のハードディスク

メーカー			
型番		容量	



# 保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

## 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

## 初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。  
ブラネックスコミュニケーションズ(株)  
サポートセンター フリーダイヤル0120-415977
2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

## 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

# 保証書

弊社の保証規定を必ずご覧下さい

保証期間 Warranty	西暦                      年                      月                      日 より 1年間
製品名 Product name	USB2.0接続2.5インチポータブルハードディスクケース
型番 Product No.	<b>RX2-25HU</b>
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。  
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って  
いただいていない場合には、  
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:[info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**